

かつてこの地域では和紙の生産が盛んに行われており、現在でも材料となるミツマタの栽培が続けられている。また、昭和の中ごろまでは水車が多く利用されていた地域でもある。

「夢すき公園」は、こうした地域の歴史背景を取り入れ、神代川の岸辺に整備されたもので、公園のシンボルである大小2つの水車と、紙漉き体験のできる紙の館を中心とした施設である。

園内には、水車の動力となる水を送る水路を縦断させ、調整池機能をもつ池にはコイを泳がすなど、昔から水と親しんだ生活を表現しており、実際に水車の動力を使って製粉することもできる。また、広場には休憩のための石段や藤棚などを設け、神代川の護岸には階段工やホタル護岸を整備し、親水性を高めている。



所在地	岡山県阿哲郡神郷町下神代
諸元	面積：約5,000m <sup>2</sup>
関係する施設	広場、庭園、池、流水、ベンチ、水車小屋（親子水車）、親水護岸、紙の館、展示棟
材料	御影石、ヒノキ・スギ材
イベント	ふるさと祭